

## 少煙くんの焼却能力の算定方法について

廃棄物焼却炉の燃焼能力については、次に掲げる方法により算定するものとする。

ただし、他に妥当な根拠がある場合は、この限りではない。

$$\text{焼却能力(kg/h)} = \frac{\text{焼却室容積 (m}^3\text{)} \times \text{燃焼室熱負荷(kcal / m}^3\text{・h)}}{\text{廃棄物の低位発熱量 (kcal / kg)}}$$

**焼却室容積** : 焼却炉内の一次燃焼室の容積をいい、二次燃焼室や火格子より下部は含まない。(二次燃焼室との区別が明確でない場合は、一次燃焼室に含む。)

**燃焼室熱負荷** : 小規模廃棄物焼却炉は、おおむね25万(kcal/m<sup>3</sup>・h)とする。(平成14年11月26日付け環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課及び産業廃棄物課事務連絡による)。

**廃棄物の低位発熱量** : 廃棄物1kgが完全燃焼するとき発生する発熱量をいい、付表の数値を用いることとする。

## 付表 廃棄物ごとの低位発熱量

廃棄物名		発熱量(kcal/kg)
草・木		3,000
ベニア・合板・化粧版		5,000
集成材・ボード		4,500
紙類		4,000
繊維類		5,300
合成ゴム		8,300
廃油		8,300
皮革類		5,300
一般雑芥(注1)		4,200
厨芥		4,000
動物死体		1,100
プラスチック類		
熱可塑性樹脂(塩化ビニールを除く)		10,000
その他プラスチック類		4,200
汚 泥	石灰薬注汚泥	2,900
	高分子薬注汚泥	4,500
	下水汚泥	3,500

注1) 一般雑芥: 廃プラスチックとゴムくずとの総量が10%以下